

取扱説明書

この度は、ライテックスのセンサーライトをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本機を正しくご使用いただくために、必ず取扱説明書をよく読んでください。

1. 部位説明

【本体】

ライト角度調整
ライトカバー
ハロゲン電球(100W)
センサー
センサー角度調整
電源プラグ

【センサー部】

時間調節つまみ
点灯調節つまみ
ブラケット固定ネジ
L型ボルト差込穴
チャイム・アラーム差込口

【付属品】

ネジキャップ
クランプ台
L型ボルト
取付けネジ
プラスチック製プラグ
ネジナット
ネジナット
取付けネジ
プラスチック製プラグ
ハロゲン電球(100W)

※ライト部・センサー部は、手でお好みの角度にできます。

電球の取付け方

※ライトカバーを左に回して外し、ハロゲン電球を差込み、ライトカバーを取付けてください。
*ハロゲン電球は手袋か布を使って素手で触れないでください。

2. ⚠ 警告

- ①電源はコンセントから取ってください。
 - 屋外のコンセントは防水型を使用してください。
 - 電線と直接つなぎたい場合は、必ず電源を切れるスイッチを取付けてください。
 - ※電球を取替える時や通電、停電後の再通電で電源を切る必要があるためです。
- ②電球を取替える時は
 - 電球は消灯していても、本機の電子回路には電気が流れているので、突然ライトが付くと危険です。必ずコンセントからプラグを抜いてから取替えてください。
- ③取付け場所は、燃えやすい物が近くにない所を選んでください。
 - ライト部、特に透明ガラス部は高温になります。燃えやすい物や引火しやすい物の近くには絶対に取付けしないでください。
 - 壁でも本体に物（布巾や布等）を被せると点灯し引火する危険があるので絶対にしないでください。
- ④火傷に注意してください。
 - 点灯中、消灯後も電球、ライト部は熱くなっていますので絶対に触れないでください。
- ⑤屋外に取付ける場合は
 - 本機は防雨構造です。通常の雨、風には耐えますが、防水タイプではありませんので、大量の水のかかるような所には取付けしないでください。
 - *防雨構造はIP-44電気機械器具の保護等級について許可を受けた規格です。
- ⑥屋内・屋外に関係なく逆さまに取付けしないでください。
- ⑦本機を改造しないでください。
- ⑧電波を出す器具の近くには取付けしないでください。
 - 電波を出す器具や本機が誤動作する場合があります。

※本機は探知範囲内に侵入する物（人・車等）に対して注意を促しますが、盗難や犯罪が発生しても一切の責任は負いません。
※製品改良のため、仕様および外形は、予告なしに変更することがありますのでご了承ください。



3. クランプで挟む取付け方

⚠注意 クランプでの取付けは、万一落下しても事故の起こらない場所に取付けてください。

縦向きの柱、パイプの場合

① ●L型ボルトをAの向きに奥まで差込、Bの向きに倒します。

対角にL型ボルト

② ●L型ボルトを柱、パイプの間で、クランプ台を対角の穴に通し、蝶ナットでしっかり締めます。ネジキャップを付けてください。

横向きの柱、パイプへの場合

① ●L型ボルトをAの向きに奥まで差込、Bの向きに倒します。

対角にL型ボルト

② ●L型ボルトを柱、パイプの間で、クランプ台を対角の穴に通し、蝶ナットでしっかり締めます。ネジキャップを付けてください。

4. ブラケットで壁に直接の取付け方

- ① ●ブラケット固定ネジを外し、ブラケットを開き外します。
- ② ●壁等にブラケットの穴に通し、印を付けます。(アルミ板、薄鉄板の場合) 印に電気ドリル等でφ3.3mmの穴を開けます。(木はφ3mm)
- ③ ●付属の取付けネジでブラケットを取付けます。
- ④ ●本体をブラケットの上の爪を差込取付け、ブラケット固定ネジを締め付けます。

(コンクリートの壁の場合)

- 振動電気ドリル等でφ6mmの穴を開け、付属のプラスチック製プラグを差込、金づち等で軽く叩き、壁と面を合わせます。
- 付属の取付けネジでブラケットを取付けます。

壁の横端の場合

- ① ●L型ボルトをAの向きに奥まで差込、Bの向きに倒します。
- ② ●L型ボルトを壁の横端に挟み、クランプ台を平行の穴に通し、蝶ナットでしっかり締めます。ネジキャップを付けてください。

壁の上端の場合

- ① ●L型ボルトをAの向きに奥まで差込、Bの向きに倒します。
- ② ●L型ボルトを壁の上端に挟み、クランプ台を平行の穴に通し、蝶ナットでしっかり締めます。ネジキャップを付けてください。

5. 配線工事での取付け方

1. ブラケット固定ネジを取外し、ブラケットを開きます。
2. ネジを緩め、後ろカバーを取外します。
3. ターミナルとコード押えから電源コードを取外します。
4. 壁からのコードをブラケットに通し、後ろカバーのフックに通します。
5. 壁からのコードをターミナルに取付けます。
6. コードをコード押えで固定します。
7. 後ろカバーをネジ4本で前カバーに取付けます。
8. ブラケットを壁に取付けます。(4. ブラケットで壁に直接の取付け方を参照)
9. ブラケットに本体を取付け、ブラケット固定ネジを締めます。

*1個用耳付きボックスに取付けるには別売りのV-1502 工事用取付け金具を使用し、1個用耳付きボックスにスポンジとプレートを重ねたブラケットをネジで取付けてください。

●V-1502工事用取付け金具 別売

●スポンジ プレート

6. センサーの動作テスト

- 点灯ツマミを **短** に回す
- 時間ツマミを **短** に回す
- 電源を入れる
- センサー探知範囲に入り、すぐに出る

点灯→消灯 → 点灯→消灯

約5秒点灯後に消灯 → 約5秒後に消灯

【注意】点灯、消灯しない時は「15.故障かなと思った時」事項を参照してください

7. センサーの通常動作

●明るい時 → ●夜 暗い場所 → 人がいなくなると

消灯 → 点灯 → 消灯

- 点灯ツマミを **夜** に回す
- 探知範囲に入ると点灯
- 設定した時間後に消灯

8. センサーをお好みのモードに調節します

①(時間) タイマー点灯保持時間 **約5秒~約5分**

点灯時間の調節は、調節ツマミを図1のように右へ **短** (約5秒点灯) から少しづつ回し、その都度、点灯時間を確認し、調節してください。

- *ツマミ角度は時間とは比例しません。
- *センサーの探知範囲に入り点灯を確認後すぐに探知範囲外へ出てください。
- *探知範囲に人がいつまでもいると点灯時間が延長され消灯しません。

図1 短 長 (時間)

②(点灯) 明かりセンサー

●昼も夜も点灯・●薄暗い時から夜に点灯・●暗い時だけに点灯

点灯させる周りの明るさを調節は図2のようにツマミを **昼** から **夜** から **夜** に、点灯を調節することができます。

- *夜でも他の照明の光が当たる時は **夜** 側に調節します。
- *実際に点灯させたい周りの明るさの時に調節してください

図2 昼 夜 (点灯)

③センサー探知距離、角度の調整

- 探知したい場所へセンサーを向けてください。
- 探知角度をせまくしたい時は付属の探知角度調整シールを図3のようにセンサーレンズ側面部に貼ります。
- 探知距離を短くしたい時はセンサーを下向きにします。

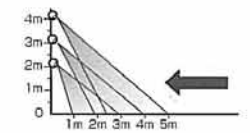
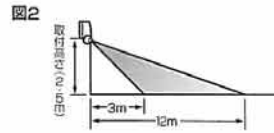
図3 探知角度調整シール

9. センサーライトの探知範囲

■センサーは最長約12m×200°の範囲で動く人や車を探知します。

〈焦電型赤外線センサーの探知距離〉

- センサーに向かって左右に横切った場合 (敏感に探知します)
- センサーに向かって直進した場合 (探知が鈍い)



- 探知角度200°
- 探知距離12m
- 探知角度200°
- 探知距離4m以下

*センサーに向かって左右に横切った場合は敏感に反応しますが、センサーに向かって直進した場合は、極端に探知が鈍くなります。図1、図2の条件に合う場所に取付けてください。

*夏場の周囲の温度が高く、人からできる体温との差が小さい場合は、探知が鈍くなり、ときには探知しない場合があります。

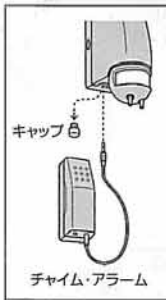
10. 取付け前の注意

*センサーは、周囲の明るさと温度変化に探知するので、図の場所に取付けると誤動作や、動作しない時があります。

風などで揺れる植物やカーテン等の近く	エアコン等の送風を受ける所	大理石の床や壁等の光の反射を強く受ける所	ガラスや壁越しの所
強い振動を受ける所	車の通る道路に面した所	電波の強い所	取付け高さが5M以上の所

11. R-330セバ・ライトシリーズ チャイム・アラーム〈別売〉

- 別売りのR-330セバ・ライトシリーズ チャイム・アラームを接続すると、本機のセンサーが探知して、自動的にチャイム・アラームも鳴ります。
- 用途に応じてチャイムかアラームの2種類の報知音に切り換えられます。
 - ・チャイム...爽やかなドアチャイムの音が来訪者の接近を知らせます。10mのコード付きで、屋内に取付けてください。
 - ・アラーム...サイレンが30秒間鳴り、侵入者を防ぎます。
- チャイム・アラームは別回路を設けておりますので、ライトの点灯に関係なく鳴らすことができます。



12. チャイム・アラーム〈別売〉の取付け方

- 本体下部に差込口がありますのでキャップを外しチャイム・アラームのプラグを差し込みます。
- *コード延長は勧められません。誤動作の原因になります。

13. 替電球と工事用取付金具とプレートのお買い求めについて

- 替電球と工事用取付金具は、本機をお買い上げの販売店へご注文してください。尚、入手困難な場合は、直接(株)プロトにご注文いただければお送り致します。
 - R-111 ハロゲン替球 100Wは 1,600円 (消費税)
 - V-1502 工事用取付金具は 1,000円 (送料込み)
- 但し代金は前金でお願い致します。郵便切手でも結構です。

14. 仕様

電圧	AC 100V
消費電力	100W (待機時1.5W)
適用電球	ハロゲン電球100W (JC100-110V G6.35)
センサー探知方式	焦電型赤外線センサー
センサー探知範囲	水平約200°・約12m
点灯保持時間	約5秒~約5分
電源コードの長さ	6m
本体サイズ	幅85mm×奥175mm×高さ240mm クランプ除く
クランプ取付けサイズ	厚85mm最大
チャイム・アラーム	チャイム・アラーム出力端子 *別売R-330セバ・ライト用 チャイム・アラーム 対応
設置場所	屋内、屋外用(防雨タイプ)

15. 故障かなと思った時

現象	考えられる原因	処置
点灯しない 探知範囲に人がいるのに点灯しない	電源が入っていない 探知範囲の設定が適切でない 本体に向かって真すぐ接近している 探知部(センサーレンズ)が汚れている、蒸気や雨などの水滴が付いている 寒冷地などで顔がマフラーで覆われている、手袋をしている 雨の日に傘で顔や手が隠れている	電源プラグが抜けていないか確認する(探知用コンセントに差す) 探知範囲を調節する(センサーを探知させたい方向に向ける) 探知部(センサーレンズ)をやわらかい布で拭かないようにふき取る 本センサーは人の動きによる温度変化分を探知するため左記の場合探知しにくい場合がある
点灯しない 本体(センサー内部)からカチカチ音がする	電球が切れている 電球を正しく取付けていない	電球を交換する 電球を正しく取付ける
点灯しない 周囲が暗いのに探知範囲に人がいても点灯しない	探知部に他の照明器具の光が入っている	点灯ツマミを 夜 側に点灯するまで回す *8.2点灯(明かりセンサー)の調節 参照
消灯しない	時間ツマミが 夜 側に調節されている 探知範囲内に人がいる時間が延長され消灯しない。 回路が異常(エラー)している	時間ツマミを 短 側に合わせる *8.1時間(タイマー)の調節 参照 探知範囲外に移動する
昼なのに点灯する 周囲が明るいのに	点灯ツマミが 夜 側に調節されている	点灯ツマミを 昼 側に合わせる *8.2点灯(明かりセンサー)の調節 参照
探知範囲内に人がいないのに点灯する	探知範囲内に誤動作源がある(例)他の照明器具 エアコンの吹出口・犬や猫などが動いている・虫などでよく揺れる物(看板、旗、植物等)・車の熱やヘッドライト・強いノイズ(無線ノイズ等) *10.取付け前の注意 参照 探知範囲の外側近くに道路があり、自動車や人の動きを感知している ライトがセンサー部をさえぎっている	誤動作源を取り除く(探知範囲を調節する)(左記に該当する物があれば取り除くか本体を移動する) 探知範囲を規制する *8.3センサー探知距離、角度の調整 参照 ライトをセンサーから離す
探知範囲内に人がいるのに消灯する	電源を投入した直後(停電直後) 時間ツマミが短側に調整されている 探知範囲内で人が静止している	時間(タイマー)経過後、消灯することを確認する *8.1時間(タイマー)の調節 参照 時間(タイマー)ツマミを 短 側に設定する *8.1時間(タイマー)の調節 参照 本センサーは静止している人には性能上探知できません
チャイム・アラーム 人はいないのに反応する(チャイム・アラームは別売)	探知範囲内に誤動作源がある ・星は特に太陽光の変化を受けやすい ・虫などでよく揺れる物(看板、旗、植物等) ・車の熱やヘッドライト ・強いノイズ(無線ノイズ等) ・犬や猫などが動いている。	誤動作源を取り除く(探知範囲を調節する)(左記に該当する物があれば取り除くか本体を移動する) 探知範囲を規制する センサーの向きを変える センサーに探知角度調整シールを貼る *8.3センサー探知距離、角度の調整 参照